

下関市立大学広報

2003年6月1日 第40号

発行
下関市立大学広報委員会
山口県下関市大学町2-1-1
TEL 0832 (52) 0288
FAX 0832 (52) 8099
http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/

(題字 中山尊名誉教授)

2003 年度入学式

2003年4月8日、第42回入学式が挙行され、経済学科260名と国際商学科264名（うち留学生8名）、大学院経済学研



究科10名の新入生を迎えた。下山房雄学長からは「本当の勉学はこれからです」と激励のメッセージ（下掲）が贈られた。新入生からは、学部を代表して森山直君（経済学科）、学部留学生を代表して朴旭華君、交換留学生を代表してDenman Jared Lee Reynold 君（クイーンズランド大学2年）、科目等履修生を代表してOngard Akewanaporn 君（タイ商工会議所大学4年）、大学院生を代表して岡雅之君（同国際ビジネスコミュニケーション専攻）が誓いの言葉を述べた。留学生、科目等履修生らは日本語とともに母国語でも述べ国際色豊かなものとなった。また、大学振興賞がインターンシップの開設に努力された川本忠雄教授に飯田要同窓会会長から授与された。川本教授はお礼の言葉をかねて新入生を鼓舞すべく異例の大演説をぶたれたのが印象的であった。新入生、保護者の方も驚くとともに頼もしく思われたのではなかろうか。

下関市大へようこそ——何を何故どのように学ぶか

2003 年度入学式式辞

学長 下山房雄

この春めでたく、下関市立大学に入学された学部生、院生、科目等履修生、特別聴講学生の皆さんにご挨拶申し上げます。志願したが入学に至らなかった青年たちが沢山いたことを忘れず、これからしっかり勉強してください。実を言えば、本学入学がほんとに「めでたい」かどうかは、諸君のこれからの勉学にかかっているのです。3年、4年のシニアの課程に入ってもなおこの大学に来るべきでなかったとして、本腰で勉学の姿勢がとれないことにならぬよう、よき教員を捉まえよき友人を作って、高等教育に相応しい知力をつけ、21世紀の日本そして世界をよりよく発展させる人間の一人となってほしいです。

百何十億年前に誕生したこの宇宙の発展の中で、50億年前にわが太陽系が誕生し、その一惑星＝地球の自然史の中でわれわれ人類が生まれました。人類は数百万年の自然と格闘する生活経験を経て、数千年前に文字文明を持つに至りました。文字文明は自分の経験を空間的・時間的に超えて外界＝自然・社会・人文を認識することを可能にしました。勉強するということは、そうした認識行為です。書籍等の媒体を通じて、自己の認識世界を広げていく目的意識的行動に、現代日本の大学生は弱い状態にあり、「知的には幼児」と言われたりもしています。教員の助言、支援のもとで、たくさん本を読み、また良い映画、芝居、音楽に接して、知的幼児状態から脱却することを期待いたします。高等教育では、ある限定された分野についての科学的認識の今日段階を自己の人格内に蓄積し、さらにたとえ貧しくとも自分に独自の知見をそれに付け加えることが専門教育の課題として要求されます。国旗や国歌に象徴される国家

からの「学問の自由・大学の自治」は、教員の研究のためのみならず、学生の単なる学習を超えた研究のためにも、不可欠なのです。政治的あるいは宗教的権威に盲従した専門家の行為が、人間社会に対する破滅的結果を齎すことを反省して、戦後日本の高等教育では一般教養教育を改めて重視する方策が採られました。専門的知識が世界万物のごく限られた一部分の認識であるという相対性を自覚することが必要なのです。「大学改革」の中で教養教育が軽視される時流がありますが、その時流に逆らって教養教育を重視する教育体系を本学がとっている所以です。専門ゼミの中に経済学・商学ではないテーマのものを設けているのも、マルチな認識の人材が育つてもよいと考えてのことなのです。

外国語とコンピューターにおける熟達した技能は、以上の専門・教養認識のtoolとして、有用・不可欠です。そのための訓練の効率は、青年期には特に高いのです。挑戦して下さい。本学は「国際性」を看板にしていますが、海外交流校との交換留学の現在の枠は、年に英語・6名、中国語・2名、朝鮮語・2名で、それほど多くはありません。特に、英語のテスト＝TOEFL得点の一定基準を要求するオーストラリア、トルコの大学には、近年本学からの派遣がその基準に未達の理由でできなくなっています。残念です。英語傾斜の入試得点設定になっている国際商学科だけを母体として考えても、1000人中TOEFL受験者が10数人しかいないという現状が克服され、オーストラリアやトルコの歴史、風物に知的関心を強く抱いた学生が、交換留学で世界的認識を獲得してくれることを期待するものです。



2002 年度卒業式

2003年3月25日、第38回卒業式が挙行され、経済学部経済学科239名(総代・上野絵美君)、同国際商学科268名(総代・門田こゆき君)の卒業証書・学位記が授与された。また、大学院経済学研究科経済システム専攻1名、同国際ビジネスコミュニケーション専攻1名(研究科総代永田和代君)に対し修士学位が授与された。下山房雄学長の式辞(下掲)と江島潔市長をはじめとする来賓各位からのお祝いのことばが述べられた後、出発(たびだち)のことばが、卒業生総代・佐伯光洋君(経済学科)、留学生総代・高志毅君(国際商学科)、大学院経済学研究科総代・永田和代君、科目等履修生総代・小田義則君から述べられ、華やかな式となった。また第27代体育会会長・周藤伸次郎君から記念品(テント)が贈呈された。さらに吹奏楽部によって卒業生のために「未来予想図Ⅱ」が演奏された後、応援団によって迫力ある、応援歌とエールがおくられた。

瘦せた豚の生き方

——2002 年度卒業式式辞——

学長 下山 房 雄

学士号取得507名、修士号取得2名、科目等履修26名、皆さんの名を個々に挙げることはできませんが、一人一人に心からの祝意を表し、この学業達成が今後の皆さん自身や皆さんが織り成す社会に対して大きく貢献することを期待して、式辞を述べます。

この場にいる皆さんの大部分がその場にいた1999年度入学式式辞の結びで私は次のように述べました。「社会は結局人間が作っているものです。21世紀の日本や世界は、あなた達がどのような労働と生活の文化を身につけるかに懸かっています。大学生活は、そのための重要な助走期間です。頑張っ／＼ 転ばぬように／＼」さて皆さんの助走はどうでしたか。出来不出来は別として、助走は終わり、これ

から社会人としての本業に奔走せねばなりません。この地球規模での失業時代に例外的に、独自の若年者雇用政策を欠く日本国家のもとで、職未定の諸君はなお求職を続けねばなりません。職が目出度く決まった人も、過労死に典型的結果をみるような厳しい職場条件に遭遇するかもしれません。そういう状況で生き抜くことは容易ではありません。でも聡く生き抜いてほしいと強く願います。

私の専門領域である労働問題の分野では、解決すべき社会問題は国家による社会政策か、労働組合による団体協約の規制により解決されていくと説くのが教科書的理解でした。しかし、新自由主義の思想を機軸とする国家や企業の今日の「改革」政策展開のもとでそのような解決の論理は特に日本において極めて見えにくくなっています。映画「芙蓉鎮」では、劉曉慶演ずるヒロインに対して狂気の文化大革命を「牛や豚になっても生き抜け／＼」と諭す姜文演じる「ウスノロ」の言葉が聞かれます。「ウスノロ」はバカのふりをして、しかし客観的にはその自己を冷静に見つめながら、生活環境が変わる日が来ることを予測しつつ生き抜くのです。豚のふりをして、実は瘦せたソクラテスだったのです。

組織の歯車の中で「豚になって生きる」局面が諸君の明日にあるかもしれません。しかし、その局面でもけっして状況に主体的に同化して過労死などに行き着くことなく、常に冷めた科学的眼で自他の関連を理解しながら生きてほしいと思います。

ILOが新自由主義的グローバリゼーションに抗して課題として掲げている「decent work 品位ある労働」やいま改めて強調している「結社＝組合団結の自由」が、日本の労働現場で実現することを、私は願っています。しかしそのような「改革」は、日本社会内部の集団力学ベクトルのある構造変化が無ければ実現しません。4年前に、私が教授会の了承を得て、日の丸はハーケンクロイツと同じ側にあったという歴史認識に加え、国家からの「学問の自由」の場たる大学式典での国旗掲示はどんな国旗であれ取りやめるべきとしたのに、今日に至るまでそうできないのも同じです。そうならば、瘦せた豚として忍耐強く日常を生きながら、集団ベクトルを構成する無数の個人の一人として、戦後民主主義が国是として保障しているはずの「自由と民主主義」に拠りつつ、歴史進歩的「改革」のために力量を発揮すべき機会を探し、捕らえ、活かすことを、生涯の課題とすべきでしょう。4年前に私が諸君に「21世紀は、あなた達にかかっています」と訴えた意味はそういうことです。この式辞を、生涯の時折に思い起こしてほしいと考えるものです。さようなら。

就職状況

平成14年度就職状況

平成14年度も日本経済の現状を反映して厳しい就職状況であったが、本学の場合内定率は近年になく高かった。平成15年3月末の内定率は、男子86.9%、女子88.9%、全体で87.7%であった。これは前年度実績と比較すれば、男子で5.3%、女子で△3.0%、全体で2.2%の増加である。女子の内定率で前年を下回ったが、それでも男子よりも内定率は高く、ここ数年低迷していた男子のがんばりによって全体としての内定率が引き上げられたかっこうである。なお、大学院進学者は、本学大学院の8名を含め、全体で15名であり、こちらも例年に比べて多かった。また、実態は十分に把握できていないが専門学校への進学者も多く

なっている、と思われる。なお、市内をはじめ近隣の大学の内定率と比べて本学の実績はかなり高い。

平成15年度就職(採用)環境

平成15年度は、経済不況にやや回復の兆しがみられるが、消費も思うように伸びず、雇用環境は依然厳しい。採用活動の自由化(採用活動時期・内定時期・採用方法)は一層進展してきている。就職協定廃止7年目となり、採用活動の前倒傾向が一般に強まっているが、ほぼ企業の採用活動方法は学生に周知徹底されてきており、本学学生も活発に活動中である。特色としては、有能な即戦力を求める傾向が強まり、通年・中途採用を実施する企業が増加したことや、新卒採用を含め企業が人材を選別する目は一層厳しくなっている。また、企業概要をHPに載せるだけでなく、エントリーシートの請求やエントリーそのものをネット上で受けつけるなど、インターネットを採用活動に

活用している企業がますます増加している。

平成15年度就職活動計画

- ① 4年生個人面談：昨年同様、12月17日から4日間、就職委員会の教員が学生（約300名）と個人面談を行い、学生本人の就職希望を聞き、就職アドバイスを実施した。続いて、企業に推薦する学生面接を2月27日に実施した。今年度の4年生はますます厳しくなることが予想される雇用環境の変化に対応し、積極的に活動している学生が多くなった印象を受ける。
- ② 企業開拓活動：例年より早く、就職委員9名が分担して、優良企業約200社を目的に、求人依頼などの企業開拓を行い、現在も継続中である。
- ③ 公務員試験・企業筆記試験対策：第一回公務員ガイダンス（国Ⅱ、地方上級対策）は6月中旬に人事院中国事務局から講師を招き実施予定。また、ビデオ（全70巻）による公務員・企業筆記試験対策講座会員を募集中（対象者全学年／5千円）。就職相談室で希望者の受付を行っている。専門講師による教室での講義（全130コマ）は9月より実施予定。両講座とも積極的に参加することを期待している。また、教員採用試験対策を実施して行く。
- ④ インターネット：今や就職活動に必須のものとなっているインターネット接続PCを就職相談室に4台、学術センター地下電子計算機実習室に120台設置。学生が自由に企業の情報収集、資料請求、セミナー申し込み等に

活用できるようにしている。学生個人のメールアドレスは3年生の秋に配布。また、就職相談室のアドレスはshusyoku@shimonoseki-cu.ac.jpである。

- ⑤ 各種証明書配布：卒業見込証明書は教務部において、成績証明書は各人3部就職相談室において4月1日より発行。（追加の場合は教務部窓口へ申請のこと。）
- ⑥ 個別就職相談：個別就職相談日（月、火、水、金曜日）を設け、就職委員が就職相談室で待機し、相談に応じている。それ以外の日時であっても、教職員が適宜対応している。

平成15年度就職委員会

本年度のメンバーは以下のとおりである。

就職委員長	佐々由	教授
就職副委員長	櫻木晋一	教授
就職委員	堀内隆治	教授
就職委員	西戸隆義	助教授
就職委員	山田留里子	助教授
就職委員	関野秀明	講師
就職委員	正村豊	事務局長
就職委員	近藤保子	学生部主査
就職委員	岡崎繁史	学生部主事
就職相談室長	永田弘芳	
就職相談員	堂下邦江	

ゴミの分別を徹底して排出量を減らそう

——下関市ISO14001認定の取得とゴミの分別排出体制について—— エコキャンパス推進委員会より



本年1月24日に下関市はISO14001（事業所などが事業の経営・活動を通じて環境に与える負荷をできるだけ減らすよう配慮する「環境マネジメントシステム」に関する国際規格）の認定を受けることができ、登録証の授与式が3月3日に商工会館で行われました。本学も市役所全体の諸施設の一つとして適用範囲に組み込まれ、2002年11月と2003年1月の2段階の本審査をパスして同時に認定を受けています。

審査の過程では、本学が市の認証取得に積極的に協力し、これからのエコキャンパスづくりを実あるものにしようと全学の構成メンバー（職員、教員、学生、生協）の代表からなる「エコキャンパス推進委員会」を立ち上げて取り組んでいることや、学生への環境教育を行い、市民参加によるリサイクルプラザの運営体制づくりに関わるなど市のごみ減量リサイクル化への取り組みに参加していることなどが著しい環境側面のプラス要因として高く評価されました。これから、定期的（年2回ほど）に第三者機関からチェックを受け、認証は3年ごとに更新手続きを受けることになります。さらに今後とも、環境負荷低減の目標を設定し、より積極的に「継続的改善」に努める必要があります。

当推進委員会では、「キャンパスクリーンデー」の設置、環境教育や環境保全への啓発活動のチェック・記録の整備、および、ゴミの分別排出体制の整備・推進の3つの提案を行い、1月30日と3月20日の教授会で今年度からのそれらの

取り組みが承認されています。

「キャンパスクリーンデー」は、春学期試験終了直後の日に（今年は9月12日の予定）、サークル活動の学生諸君と学生部を中心に実施している「キャンパス大掃除」を学内の一大行事として位置づけてキャンパス構成員のより多くの参加を得て実施することにし、併せて「消防・防災訓練」と、「エコキャンパスづくり」活動の情報提供やガイダンスも行うというものです。

また、4月から実施しているキャンパス内の排出ゴミについては、より多くの量をリサイクル資源ゴミとして排出することによってゴミ排出量の削減を図るために、キャンパス内製所に分別排出ボックス（目下のところ大型ダンボール箱）を設置し、分別排出の徹底化に取り組み始めました。ゴミの仕分けは、①可燃ゴミ燃やせるゴミ、リサイクル化の資源ゴミとして②空き瓶類、③空き缶類、④ペットボトル、⑤プラスチック製容器包装の4つ、古紙も資源ゴミとして、⑥新聞類、⑦雑誌類、⑧用紙類、および⑨ダンボールの4つに分け、その他として、⑩有害ゴミと⑪燃やせないゴミの計11分別で排出することにしています。

まだ、始まったばかりで、出し方に慣れていない者もいるようですが、互いに気をつけ合って協力し合うようになれば、今後、ゴミの排出量は減って行くものと確信しています。

入試状況

2003年度の入試では、例年通り、推薦入学、特別選抜（帰国子女、社会人、中国引揚者等子女、外国人留学生）、一般選抜、3年次編入学が実施された。志願者数を昨年度と比較すると、特別選抜、編入学は大幅に増加したが、全体としての志願者数という点では、昨年度を下回った。特に、2002年度に大幅に増加した経済学科の志願者が、前期日程、中期日程ともに減少した。大学院には11人の志願者があった。2003年度入試状況及び合格者出身校（留学生を除く）は以下の通りである。

2003年度入試状況

		学 科 (募集人員)	志願者	受験者	合格者	実質 倍率
一般選抜	前期日程	経 済 (60)	240	219	86	2.5
		国際商 (60)	344	316	101	3.1
	公立大学中期日程 (旧C日程)	経 済 (100)	1,291	757	316	2.4
		国際商 (100)	1,513	841	305	2.8
推薦入学	全 国	経 済 (31)	67	67	31	2.2
		国際商 (31)	73	73	37	2.0
	地 域	経 済 (34)	46	46	35	1.3
		国際商 (34)	40	40	35	1.1
特別選抜	帰国子女、社会人、 中国引揚者等子女	経 済 (5)	4	4	4	1.0
		国際商 (5)	8	8	5	1.6
	外国人留学生	経 済 (若干名)	16	13	4	3.3
		国際商 (若干名)	74	71	17	4.2
編入学	経 済 学 科 (10)		20	20	7	2.9
	国際商学科 (10)		24	24	9	2.7
大学院	経済社会システム専攻 (5)		2	2	2	1.0
	国際ビジネスコミュニケーション専攻 (5)		9	9	9	1.0

2003年度合格者出身校

〔青森〕三沢〔福島〕安達〔茨城〕水城〔栃木〕矢板東〔群馬〕沼田〔埼玉〕埼玉工業大学深谷〔千葉〕専修大学松戸〔石川〕大聖寺、羽中、鹿西〔福井〕藤島、高志、羽水、武生東、北陸〔長野〕須坂、岡谷南、飯田〔岐阜〕大垣南、斐太、各務原西、岐阜第一、美濃加茂、中京、高山西〔静岡〕藤原、掛川東、静岡学園、磐田東、浜松日体〔愛知〕愛知教育大学教育学部附属、瑞穂、五条、刈谷北、刈谷東、安城東、西尾東、岡崎北、新城東、小坂井、豊田北、高蔵寺、豊田南、半田東、知立東、名古屋第一、星城、岡崎城西〔三重〕松坂、宇治山田、川越、高田、三重〔滋賀〕石山、彦根東、守山、水口東、米原、虎姫、河瀬、近江兄弟社、光泉〔京都〕嵯峨野、桂、向陽、宮津、峰山、東陵、堀川、菟道、南陽、京都橘〔大阪〕北野、豊中、千里、大手前、高津、泉陽、北千里、山田、開明、上宮、梅花、清風、清風南海、清教学園、初芝富田林、大阪桐蔭〔兵庫〕長田、北須磨、神戸商業(県立)、西宮(県立)、宝塚、有馬、柏原、明石北、小野、北条、三木、姫路東、姫路南、龍野、赤穂、山崎、豊岡、生野、三原、宝塚西、相生、兵庫商業、姫路、西宮甲山、川西北陵、明石城西、宝塚北、姫路西、北摂三田、三田西陵、親和女子、滝川、兵庫県立播磨、賢明女子学院、東洋大学付属姫路、滝川第二〔奈良〕西大和学園〔和歌山〕桐蔭、海南、田辺、串本、新宮、開智、近畿大学付属和歌山〔鳥取〕鳥取東、鳥取西、倉吉東、倉吉西、米子東、米子西、鳥取城北、米子北斗〔島根〕安来、松江北、松江南、大東、平田、出雲、大社、大田、川本、浜田、益田、津和野、隠岐島前、松江東〔岡山〕岡山操山、岡山大安寺、岡山芳泉、岡山南、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南、津山、津山東、玉野、児島(県立)、玉島(県立)、笠岡、笠岡商業、西大寺、井原、総社、高梁、新見、瀬戸、和気関谷、邑久、林野、岡山一宮、倉敷古城池、総社南、岡山城東、就実、岡山〔広島〕広島国泰寺、広島皆実、廿日市、賀茂、加計、安古市、広、呉宮原、尾道東、尾道北、福山誠之館、府中、大門、福山明王台、庄原格致、三次、舟入、基町、広島商業(市立)、高陽、広島井口、安芸府中、神辺旭、砥部北、美鈴が丘、修道、ノートルダム清心、広島学院、広島工業大学附属広島、武田、近

畿大学附属福山、如水館、近畿大学附属東広島〔山口〕宇部工業高専、岩国、高森、柳井、熊毛南、光、下松、徳山、徳山商業、防府、山口、山口中央、宇部、宇部中央、小野田、厚狭、田部、西市、豊浦、長府、下関西、下関南、下関第一、下関中央工業、豊北、大津、萩、下関商業、防府西、響、光丘、西京、華陽、高水、野田学園、宇部鴻城、梅光女学院、早稲、下関短期大学附属〔徳島〕城東、城南、城北、富岡東、鳴門、辻、徳島市立、徳島中央、徳島北〔香川〕高松、高松商業、坂出、善通寺第一、観音寺第一、高松西、高松北、香川中央、三木、香川県大手前高松、香川県藤井、足城学園、香川誠陵〔愛媛〕川之江、三島、新居浜東、新居浜西、西条、丹原、今治西、今治北、松山西、松山南、松山北、松山商業、八幡浜、南宇和、今治東、新田、帝京第五〔高知〕高知追手前、明徳義塾〔福岡〕豊津、京都、門司、大里、小倉商業、小倉、小倉西、北九州、戸畑、若松、八幡、八幡中央、八幡南、東筑、新宮、福岡中央、城南、筑紫、久留米、山門、三池、大牟田北、八女、福岡、朝倉、田川、西田川、嘉穂、嘉穂東、鞍手、戸畑商業、久留米商業、北筑、春日、小倉東、中間、武蔵台、筑前、粕壁、香住丘、西南女学院、城西敬愛、東筑紫学園、九州国際大学附属、近畿大学附属福岡、福岡大学附属大濠、中村学園女子、沖学園、東福岡、福岡女学院、中村学園三陽〔佐賀〕佐賀西、佐賀北、佐賀東、唐津東、唐津西、伊万里、小城、鹿島、鳥栖、白石、致遠館、龍谷、佐賀清和〔長崎〕長崎西、長崎北、佐世保南、佐世保北、佐世保西、大村、諫早、島原、川棚、鶴岡、北松西、五島、上五島、杵岐、長崎南山〔熊本〕第一、熊本商業、玉名、大津、阿蘇、宇土、八代、人吉、天草、八代南、熊本北、東陵、文徳〔大分〕高田、国東、杵築、別府鶴見丘、大分上野丘、大分舞鶴、大分雄城台、日杵、佐伯鶴城、竹田、日田、中津南、中津北、四日市、安心院、大分南、大分豊府、大分東明、明豊〔宮崎〕延岡、高鍋、都城泉ヶ丘、都城西、延岡東、宮崎北、宮崎日本大学、鶴翔、日章学園、宮崎第一〔鹿児島〕甲南、鹿児島中央、鹿児島西、指宿、加世田、川辺、伊集院、川内、奥屋、種子島、中種子、大島、鹿児島玉龍、武岡台、樟南、鹿児島、尚志館、志学館高等部〔沖縄〕琉球、尚陽〔検定〕

外国人留学生は80名

本年度の外国人留学生の総数は80名（4月現在）である。学部留学生は1年生が8名、2年生が14名、3年生が20名、4年生が18名。1年間の交換留学生が7名、同じく1年間滞在の科目等履修生が5名（タイ1名、トルコ1名、中国3名）である。大学院生は8名。



◀ 菅 永信
ソウ・エイシン
東義大学校（韓国）

具 映利▶
グ・エイリ

東義大学校（韓国）



◀ 汪 星
オウ・セイ
青島大学（中国）

代 方麗▶
ダイ・ホウカ

青島大学（中国）



◀ Julie Paul
ジュリー・ポール
グリフィス大学
（オーストラリア）

Karli Agnew▶
カーリー・アグニュー
クイーンズランド大学
（オーストラリア）



◀ Jared Denman
ジャレッド・デンマン
クイーンズランド大学
（オーストラリア）



新任教員挨拶

新任の挨拶に代えて

高 嶋 正 晴



このたび縁あって、経済政策論などの専門科目担当教員として本学に赴任してきました。これまで、国際政治経済学、グローバル化論、米国社会経済史（産業史）、社会学などを研究してきました。現在のテーマは、グローバル化時代の経済市民と市民社会のあり方についてです。すなわち、グローバル化の波によってこれまでの国民・地域経済のシステムや経済観が大きく揺らいでいる中で、新しい経済のあり方や豊かさといったものを、市民社会を中軸にいかにして新しく構築しようのか、を考えたいと思っています。

私の経歴は少々変り種ともいえ、学部では心理学を、大学院では、研究科を変えながら国際政治経済学、社会学、産業史などを学び、また、米国の大学院に一年ほど留学もしています。こうした経験を活かして、教学および研究面で、本学の発展に大いに貢献できればと、願っています。私は、生まれ育ちが京都で、京都の外で暮らすのは、米国の大学院への留学生生活を別にすれば、初めてということになります。その最初の地がここ下関であることは、こうして職住をえて、まがりなりにも生活を始めてみますと、とても運が良かったのだ、とよく思います。こじんまりとアット・ホームな雰囲気、先生方や職員の方々など、周囲もよい方々に恵まれています。また、海や山が近く、食べ物がおいしいという下関の環境にも、満足しています。

これから大学の内外で、数多くの方々とお会い、そうしたことがまた自分自身が成長するよい契機となるのでは、と期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。

桜も微笑み

于 華



日本という国は、わたくしにとっては特別な存在だと思っています。1996年に、はじめて日本を体験しまして、美しい思い出になりました。その時、滞在期間が一月という短い研修生活でしたが、たくさんのところに行きまして、いろいろなことを体験させていただきました。東京をはじめ、京都や大阪、それから、奈良、名古屋、広島、岐阜など、現代化に象徴された大都市や歴史の古い町にも訪ねて参りました。日光の温泉に浸ったり、歌舞伎を観たり、日本料理や西洋料理を味わったりして、本当に楽しい毎日でした。

今年、やっとう一度日本に来られる機会をいただきました。ユートピアという夢みたいな名前の船で、静かで、穏やかな波に揺られて、二泊三日にして、青島市の友好姉妹市の下関に辿り着きました。桜の花がわたくしに微笑んで、「ようこそ、いらっしやい」と、言ってくれました。

驚くことか嬉しいことか、知り合いが一人もいないと思っていた下関市立大学の周りには中国人や中国からの留学生がいっぱいいます。また嬉しい、安心し、市大にも親切な方々もいっぱいいらっしやるのです。異国に滞在している感じはありません。

時の流れが矢のごとく、今、日本での生活は瞬く間に一月過ぎました。それはすべてお世話になっている親切な方々のおかげです。ここで一言、感謝の言葉を申し上げます。これからのことも、どうぞよろしくお願いいたします。

時の流れが矢のごとく、今、日本での生活は瞬く間に一月過ぎました。それはすべてお世話になっている親切な方々のおかげです。ここで一言、感謝の言葉を申し上げます。これからのことも、どうぞよろしくお願いいたします。

退任教員挨拶

6年間を振り返って

肥 塚 肇 雄

転任に伴うあわただしい一連の作業もほぼ終え、香川大学法学部にて大学人として新生活を始めております。

下関市立大学において学生諸君とともに時間を共有することができたことは大学人の一人として幸せでした。講義ないしは演習の時間は、言うなれば、「正解のない」真理探究の旅の過程といえましょう。この意味においては、私は教師でありながらも実は学生諸君と同じく探究者であり旅人であったような気がします。地図の代わりに「六法全書」をにらみながら「なぜか」「なぜか」を学生にも自分にも問い続けながらの試行錯誤の連続の6年間であったのではないかと感じております。学生が旅に疲れると、一旦入れ他愛もない話をしてはまた一步一步学生諸君と歩いてきました。いま振り返りますと、ささやかでありましょうが、「学問するよろこび」を学生諸君とともに分かち合うことができたのではないかと密かに信じております。下関市立大学に着任して以来、様々な研究分野の諸先生方から知的刺激や学問的示唆を絶えず受けることができましたことも有難いことでありました。事務職員の方々にも仕事の上で随分と支えていただきました。

このように、下関市立大学において過ごした6年の歲月は、私にとりまして、誠に有意義な実りの多い時間でありました。これも、学長をはじめ諸先生方、事務職員の方々、学生諸君のおかげと思ひこころより感謝しております。

また会う日まで、下関市立大学

孟 桂 蘭

下関市立大学を離れるにあたり、美しい山水、綺麗な花々、そして親しい友人に対し誠に忘れ難い思い出が一杯です。

昨年4月下関に赴任した際、満開の桜、美しい木々の緑に感動を覚えました。落ち着いた街並みや美しい自然はまるで一幅の水墨画を彷彿とさせ、この美しい環境の中で一年を過ごし、当地の自然を愛する気持ちは、美しい山水と同じく、清らかな風、花草及び自然と同じく育まれ、短い一年間を無事過ごすことができ、誠に後ろ髪を引かれる思いで一杯です。

勤勉な日本の方々はこの様な美しい環境を生み出し、毎日通った路上、勤務していた建物の中でも彼らの存在は常にあり、どこに行っても清潔で、美しく、終生忘れ難い思い出となっています。

忘れ難い友人の皆様、そして下関市立大学の皆様は、とても真摯な態度、そして学生の皆さんは若々しく自由闊達に接して下さい、私にとっても貴重な思い出です。例えば私が病気になる時などいろいろと困難な場面に出会った際にも友人の皆様は友誼の暖かい手を差し伸べて下さいました。懐かしい思い出で一杯なのですが、やはり別れの時はやってまいります。私は下関市立大学の皆様と友人の皆様への私に対する熱い友情を一番のおみやげとして、美しい日本を離れることになりました。友人の皆様からの暖かい友情に支えられ、たくさんの美しい記憶と共に下関を離れるにあたり、この一年間は私にとりましても貴重な時間であり、忘れ難い多くの友人の皆様との親切なおもてなしを終生記憶に留めて、これらは皆私の貴重な財産となりました。

これからは友人の皆様との再会を待ちつつ、下関での懐かしい思い出を貴重な宝物として、皆様のご健勝をお祈りする次第です。

パリ滞在記

経済学史担当教授 米田昇平

帰国して、はや一月。税関職員への懇切な対応、清潔な歩道、眠りこけても安心な乗り物、目に飛び込んでくる原色のけげんばしい看板群にさえ、新鮮な感動を覚えたのも、つかの間のことだった。今となっては、自分は本当にあそこにいたのだろうか、という眩暈にも似た奇妙な感覚に襲われさえする。



パリ13区、チャイナタウン近くの庶民的な街区が私の居たところであった。タバコの吸殻や紙くずが散らばった歩道を、犬の糞をよけながら、水運びに精を出した日々が懐かしい。

水を買込みに行くスーパーまでの途中に、食事の無料提供所があって、夕方になると、100人を超える長蛇の列ができあがる。路上生活者、移民、難民などの生活困窮者が対象で、その喧騒は、確かに今のパリの一面を写していた。

個人所得は日本の約3分の2。しかも、ある経済ジャーナリストの話では、人口の10%が国民所得の90%以上を独占しているという。一方で税金は高い。消費税は19.6(食料品は5.5%)、所得税は、私の年収なら実に52%。だからといって福祉水準が格段に高いわけではない。社会主義的思考の根強いこの国は、むしろ移民を含めて低所得層の雇用の確保に力を注いできたように思える。一部のトップエリートを除いて、いわば低賃金による社会的なワークシェアリングを実践してきたと言える。この20年間の内外の環境変化のなかでも、伝統的な生活文化とともに、「連帯」と「友愛」による社会的結合を懸命に維持しようとしてきたかにみえる。

移民の増大とグローバリゼーションという名のアメリカ化は、したがって、この国のあり方の根幹をゆさぶることになる。思えば、私の1年間の滞在は、移民の排斥を唱えたルペンによる政治的騒動に始まり、米英のイラク侵攻へのフランスの決然たる異議申し立てを目にして終わったが、これらはこの国の置かれた状況をよく示している。20%を超える国民のルペンへの支持は、移民の増大による社会的緊張が臨界点に達しつつあることを示しているし、アンチ・アメリカの国民感情の奥底には、アメリカ型社会システムの侵食に対する強い警戒心が横たわっている(アメリカの象徴としてマクドナルドを襲った農民指導者が英雄視されていた)。この圧力は、この国に、行財政改革や競争力を備えた新産業の創出を伴う産業構造の変革を迫ることになるだろうが、短い滞在の印象から言っても、膨大な数の低賃金公務員をかかえ、しかも産業の現場を担うべき中間層の手薄なこの超エリート社会が、それによく対応しうるとは思えない。アメリカ(やアジア)のプレゼンスの増大に対する防波堤としてのEUへの傾斜は、フランスにとって必然的であるように思えた。

研究の面では、所属した研究所(国立人口統計学研究所)の研究会での報告などを通じて、少なくとも、研究テーマの独自性と重要性への確信を深めることはできた。先日、来日の折に研究室まで訪ねてきた若いフランス人研究者は、共同研究を申し出てくれた。しかし、まだまだこれから。道のりの遠さを実感させられた旅でもあった。

国内研修を終えて

自然の法則、コンピュータ実習担当助教授

佐々木 実

昨年の10月1日から1月31日までの半年間を、国内研修で京都に滞在してきました。京都が私が大学院時代を過ごした場所ですが、11年半も経つと大学のキャンパスも町並みもずいぶん変わっていました。そして、コンピュータネットワークの発達によって、大学における研究スタイルも変化していると感じました。

さて、京都に到着すると、京都大学の総合博物館では秋期企画展として「近代日本を拓いた物理実験機器—三高コレクションと物理学教科書から探る—」が開催されていました。私自身が大学で物理学を講義しているという立場からの興味もあり、また昨年のノーベル賞受賞者とも関わる内容であったので、とても良いタイミングでの企画展だと感心しながら展示室に入りました。ニュートリノ天文学という研究分野を拓いたことで物理学賞を受賞した小柴氏は研究分野での関連がわかりやすいですが、実は化学賞を受賞した田中氏が勤務する島津製作所は物理実験機器や理科教育機器でも有名な企業なのです。この企画展の資料にも多くの島津製の機器が展示されていました。明治初期に西洋から学問の結果だけを輸入するのではなく、最先端の実験機器を導入し、国内でも製作して日本の高等教育を進めていたことが、結果としてノーベル賞のダブル受賞につながっていると感じさせるものでした。また、ノーベル賞が話題になったことで、京都には「島津創業記念資料館—科学の森—」が存在することも知りました。こちらの展示も、明治初期に科学立国の理想に燃えて創業した島津源蔵と、その後の日本の科学・技術の源流をうかがわせるものでした。

私の研究に関しては、「京都三次元分光器2号機」を用いた本格的な観測が始まった年となり、最先端のデータを用いた研究が始められるようになりました。この観測装置は、私が所属する研究グループで1997年から開発・製作が始まったものですが、試作器(1号機)の検討開始から数えると12年の時を経ており、感慨深いものがあります。今回の研修の成果を、私が本学で担当する「自然の法則」にも、コンピュータ関連の科目にも、反映させたいと思っています。

大学院修士号2名に授与

大学院研究科長 木村 健二

本学大学院では、2003年2月21日の最終試験(面接)の結果を受け、以下の2名に修士学位を授与しました。

経済社会システム専攻

- ・永田和代「高齢者介護の市民主体的展開に関する試験——家族の解放に向けて——」

国際ビジネスコミュニケーション専攻

- ・池田曉彦「JICAの開発パートナー事業の研究——ODAの望ましいあり方とNGOの役割を中心に——」

ついで3月22日には、次期修士論文提出予定者3名による中間発表会を開催し、活発な質疑がなされました。

本学大学院は、設立後満3年を経過したことを受けて、「大学院自己点検評価」を作成しました。そこでは、入試・カリキュラム・修士論文・進路に関して、これまでの経験や、大学院生からの意見などにもとづき、より充実した大学院指導体制を構築すべく、様々な提言が盛り込まれています。

教養講座「実践家に学ぶ」始まる

コーディネータ 小林 英 治



市民の皆さまと学生がともに学ぶ教養総合講座が4月14日にスタートした。

第1回の講師は福岡県桂川町でアイガモ水稲同時作農法を進めている古野隆雄さんで、植物と家禽を組み合わせた楽しい有機農業について熱く体験を語った。日本ばかりでなく、韓国やベトナムなどへも出かけて普及活動に取り組んでいる話は興味深かった。

第11回目を数える本年の講座は「現代の実践家に学ぶ」というテーマのもと、わが国各地で活躍する各方面の方々をお招きして7月14日まで13回にわたって開かれる。講師の題目は「フェアトレードで国際協力」「在日を生きて」「日豪関係について」「なぜ肉を食べないか」「雇用の場における男女差別」「ワークストレスとうつ病」「豊かな高齢社会の創造」など多岐にわたる。外国の方を含む実践家の皆さんから示唆に富む話が聞かれることだろう。

各講座の最後には学生および市民の方から講師への活発な質問が出て、講師と受講生および受講生どうしの交流が行われる。この講座を通じて学生諸君が複雑化するこれからの世界を生きる糧と智慧を得てくれるように願っている。また85歳の方を含む市民の皆さまからは、「生涯教育」を実践されている意気込みが感じられる。事実、経済学科2年のM君は「一般の人と一緒に講義を聞き刺激を受けた」と言っていた。

ベンチャービジネス論を開講しています

佐々 由 宇



山口県と山口県産業振興財団の支援を受けて、本学でベンチャービジネス論が開講されるようになって、今年で3年目を迎えました。産業空洞化が進み終身雇用制が崩れつつあるわが国で、若者のキャリア形成の選択肢の一つとしてベンチャーが注目されるようになって久しいのですが、この講義も県のヤングベンチャー育成事業の一環として位置づけられています。

本学でもすでに在学中からベンチャーを手がける学生グ

ループが存在し、受講生も100名を超えるなど、年々学生の関心が高まっています。また、社会人にも無料で開放していることもあって、今年も12名の社会人が受講されています。講師陣も第一線の現場で活躍されている実務家を多く招いており、体験談を含めて熱気ある講義が提供されています。

講義費用の一部を県費負担というユニークな企画ですが、今後もっと多くの学生や社会人の自らのやる気を引き出すべく意識啓発の一助になれば、と思っています。

図書館からのお知らせ

☆図書館の利用状況をお知らせします。

○利用者数

年度	平日	土曜	日曜
13年度	270	101	97
14年度	291	95	95

数字は1日平均利用者数(人)

○夜間利用者数

時刻	13年度	14年度
19時	22	16
20時	17	13
21時	11	8

数字は年間平均(人)

平日は21時30分まで開館しています。また、土曜・日曜も開館していますのでご利用ください。

☆図書返却について

最近、返却期限を守らない方が増えています。他の利用者に迷惑をかけますので、返却期限は厳守してください。返却が遅れた場合、その日数ほど図書が借りられなくなります。

同窓会だより

下関市立大学同窓会は、会員相互の連絡、親睦を含め、母校の発展に資することを目的として下関市立商業短期大学と下関市立大学の卒業生及び大学院修了生の有志で組織されています。

7月12日(土)に宮崎市で第9回同窓会総会「宮崎の集い」を開催します。全国に15支部があり、定期的に各地で同窓会支部総会を開催しています。現在の主な役員を掲載しますので活用してください。

本 部 会 長	飯田 要(市大1期卒)
	0832-52-0288(下関市立大学事務局)
副会長	枘谷 學(市大1期卒) 下関市
	0832-67-6060
副会長	原 義治(市大1期卒) 東広島市
	0824-23-7660
副会長	山田 堅次(市大1期卒) 広島市
	082-581-0226
副会長	柴田 勝利(市大3期卒) 長崎市
	0958-27-5692
副会長	藤原 久幸(市大4期卒) 加古川市
	078-941-2341
東京支部	(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)
支部長	森川 良二(市大3期卒) 042-796-4940
中部総支部	(愛知県・三重県・岐阜県)
支部長	梅谷 道明(市大3期卒) 052-354-2149
関西支部	(大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県)
支部長	井上 秀行(市大1期卒)
	042-796-4940(ダイビル園)
和歌山県支部	支部長 坂本 喜信(市大2期卒) 0736-37-2324
岡山県支部	支部長 前川 淳(市大1期卒) 086-526-0078
広島県支部	支部長 細井 資伸(市大9期卒)
	086-526-0078(瀬戸内海鑑定)
島根県支部	支部長 杉原 信之(市大2期卒) 0852-24-6276
山口県支部	支部長 枘谷 學(市大1期卒)
	0836-62-1010(麻生)
愛媛県支部	支部長 大西 淳介(市大4期卒) 089-984-2742
福岡県支部	支部長 築地 正明(市大2期卒) 092-512-4566
大分県支部	支部長 清原 宏(市大1期卒) 097-542-4810
熊本県支部	支部長 中村 裕(市大2期卒) 096-353-2537
長崎県支部	支部長 中里 寛人(市大4期卒) 0958-92-7785
宮崎県支部	支部長 永野 良明(市大1期卒) 0985-26-4414
鹿児島県支部	支部長 西元 宏海(市大1期卒) 099-206-8043

15年度予算

大学の平成15年度予算は、12億9,167万6千円で前年度比20万7千円の増額となりました。

- 前年度と違った主な内容としては、
- ・学生用パソコンを増設する予算を計上しています。
 - ・老朽化した体育館の更新にあたり、実施設計委託に要する費用を計上しています。
- なお、業務別内訳は次表のとおりです。

平成14・15年度業務別予算 (単位：千円)

区 分	平成14年度	平成15年度
大学管理業務	1,068,537	1,039,798
教員研究業務	42,695	42,876
教務業務	54,029	53,713
大学院教務業務	6,650	6,896
大学入試センター試験業務	6,102	6,279
学外入学試験業務	6,774	6,557
厚生補導業務	5,867	5,661
留学生支援業務	5,993	6,362
附属図書館業務	49,967	47,758
ネットワーク・情報教育業務	30,418	31,416
大学学務事務電算化業務	8,157	8,897
附属産業文化研究所業務	1,903	1,439
小 計	1,287,092	1,257,652
市民大学講座業務	1,377	1,374
関門地域研究業務	3,000	3,000
大学整備推進事業(体育館建設事業)	—	29,650
合 計	1,291,469	1,291,676

教職員異動一覧

新任教職員

氏 名	担当科目	前 任	着任年月日
武井 満幹 講 師	中 国 語	広島大学	H.14.10.1
高嶋 正晴 助教授	経済政策論	立命館大学	H.15.4.1
于 華 常勤嘱託講師	中 国 語	青島大学	H.15.4.1
山本 香葉 主事補			H.15.4.1
高島 千之 嘱 託			H.15.2.1
藤村 三洋 嘱 託			H.15.4.1
河野 亜紀 嘱 託			H.15.4.1

昇任教職員

氏 名	職 名	昇任年月日
西村 薫	主 事	H.15.4.1

異動教職員

氏 名	担当科目	異 動 先	異動年月日
肥塚 肇雄 助教授	商 法	香川大学	H.15.3.31
五 桂 蘭 常勤嘱託講師	中 国 語	青島大学	H.15.3.31
下田 薫次 場 長		中部学校給食 共同調理場	H.15.4.1
玉川 美樹 嘱 託			H.15.1.31
磯田 益生 嘱 託			H.15.3.31

行事記録 (2003年1月～5月)

- 1月6日(月) 公務始め
8日(水) 授業開始
18日(土) 大学入試センター試験 1/19まで
25日(土) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試
29日(水) 秋学期補講 1/3まで
31日(金) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試合格発表
2月4日(火) 秋学期(後期)試験開始 2/18まで
25日(火) 一般選抜前期日程入試(下関・大阪)
3月7日(金) 一般選抜前期日程入試合格発表

- 8日(土) 一般選抜中期日程入試(下関・大阪・福岡)
9日(日) 一般選抜前期日程入学手続開始 3/15まで
22日(土) 修士論文発表会
一般選抜中期日程・大学院入試合格発表
23日(日) 一般選抜中期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)・大学院入試入学手続開始 3/27まで
25日(火) 卒業式
4月1日(火) 春季休業開始 4/7まで
8日(水) 入学式
9日(木) オリエンテーション 大学院オリエンテーション
健康診断 4/11まで
14日(月) 春学期(前期)授業開始
21日(日) 履修届提出締切
5月7日(火) 履修確認 5/8まで
9日(木) 留学生歓迎会

平成15年度年間行事予定
(2003年6月～2004年3月)

- 6月1日(日) 開学記念日
13日(金) 第1回就職ガイダンス
26日(木) 入試説明会
7月8日(火) 春学期(前期)試験時間割発表
16日(水) 春学期(前期)補講 7/18まで
19日(土) 夏季休業開始 8/31まで
21日(月) 夏季集中講義開始
8月2日(土) オープンキャンパス
9月1日(日) 春学期(前期)試験開始 9/11まで
20日(土) 大学院入試(一次)
29日(日) 大学院入試(一次)合格発表
中旬 第2回就職ガイダンス
10月1日(火) 秋学期(後期)授業開始
履修届締切 10/14まで
6日(日) 大学院入学手続開始 10/10まで
31日(金) 大学祭(前夜祭) 11/3まで
11月22日(土) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)編
入学入試
中旬 第3回就職ガイダンス
12月1日(日) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)編
入学入試合格発表
24日(火) 冬季集中講義開始 1/6まで
24日(火) 冬季休業開始 1/6まで
26日(金) 公務納め
1月5日(日) 公務初め
17日(土) 大学入試センター試験 1/18まで
24日(土) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試
27日(火) 秋学期(後期)試験時間割発表
28日(水) 秋学期(後期)補講 1/30まで
30日(金) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試合格発表
2月3日(火) 秋学期(後期)試験開始 2/13まで
25日(火) 一般選抜前期日程入試(下関・大阪)
中旬 第4回就職ガイダンス
3月5日(金) 一般選抜前期日程入試合格発表
8日(日) 一般選抜中期日程入試(下関・大阪・福岡)
9日(火) 一般選抜前期日程入学手続開始 3/15まで
13日(土) 大学院入試(二次)
22日(日) 一般選抜中期日程・大学院入試合格発表
23日(火) 一般選抜中期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)・大学院入学手続開始 3/27まで
25日(木) 卒業式